

第122回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 村松軌道の展示について

以前に議員にも相談し、難しいとのことだったが、村松軌道のレールが見つかったので、外に展示してはどうか。10本以上見つかっていると思う。草津温泉に行った時に同じような展示があったので、真似してはどうかと思った。機関車もあるようだ。

⇒【村長コメント】

貴重なものなので、外に出すのが難しいと感じているかもしれない。また、学芸員の方たちにとっても抵抗があるかもしれない。担当課（教育委員会）にも直接聞かないと分からない部分もあるが、「屋外に置く」ということに対して危惧するところがあるのかもしれない。

担当課には話をしてみる。

⇒【担当課コメント】

村松軌道のレールにつきましては、区画整理事業にて解体された住居跡から鉄骨として活用されていたものを交流館で寄贈を受け、令和5年度夏季企画展にて展示したものでございます。

現在レールがどこで製作されたものなのか入手経路などを専門家とともに調査していることから、東海駅西口に展示するためにレールを切断することは難しい状況です。

しかしながら、幻といわれた村松軌道を体感できる良いアイデアだと思いますので、レールの展示以外の方法でも村松軌道を周知できる方法を検討してまいります。

【2】 天神山の登頂証明の発行について

天神山へ登頂をしたときに写真を撮るのだが、その写真をもとに登頂証明書の発行ができれば、子供たちにとっても遊び心があっていいのではないかな。

大阪で一番低い山の登頂証明書は薬屋が発行しているようだ。

以前話をしたことがあるが、どこの担当になるか不明ということで、断れた経緯がある。紙で発行してもらえると良いと思う。

⇒【村長コメント】

今時なので、写真を撮りそれを見せれば、登頂証明書を発行できるようにしたら良いと思う。

村もしくは観光協会が発行するというのであれば良いと思う。

担当課に再度聞いたうえで、後でまた連絡する。登頂証明書についてはスマートフォンにも保存できるようにするのも良いかもしれない。

⇒【担当課コメント】

天神山は中世の城跡である真崎城の範囲として周知されておりますが、発掘を伴う学術的調査は行われておらずその実態は現在不明の状況です。

また、今回のご意見に際し、天神山の所管課（環境政策課）にも確認しましたところ、天神山の登山道につきましては、民間ボランティア団体「自然のみどりを守る会」による樹木伐採等の環境整備活動の過程で、山頂までの登頂が可能な状態となっているものでありますことから、村として登頂証明を発行することは難しいと考えております。

【3】 教職員への郷土教育について

他市町村から東海村へ転入してきた（異動してきた）先生の中で、東海に住む（勤務する）のが初めての方には、郷土教育をしてはどうか。現状在籍している職員についても、郷土教育というところまでは行っていないと思うがどうか。

⇒【村長コメント】

学校の先生は、村の中で動く人もいれば、逆に村外から来る人もいる。現状、郷土教育を行っているのか。また、どのようにカリキュラムで行っているかを聞いてみる。

⇒【担当課コメント】

村内の新規採用教職員に対しましては、村新規採用教職員研修において、村内の紹介を行っております。また、村内への転入職員については、学校ごとに、学区内の確認等を実施しております。

以前は、夏季休業中に新規採用職員や転入職員を対象とした村内の郷土研修を行っていましたが、働き方改革を推進する中で研修自体を減らしているため、現在は実施しておりません。また、改めて研修の機会を確保することは難しいと考えております。

今後は、村を紹介するパンフレット等を辞令交付式や村教育研究会総会のときに配付するなど、工夫しながら東海村のよさを伝えていきたいと考えております。

【4】 青少年教育のあり方について

東海やったん祭において、今年度は各団体の出店も多く想定した以上の参加者が集まった。中学生のボランティアを募ったところ、東海中・東海南中の両中学校で計80人が集まった。参加するきっかけは様々あると思うがそれでいいと思っている。また、学校の先生方の協力は非常に大きいと感じている。

一方で、先生方の時間のなさも感じている。小学校、中学生、高校生と様々な人たちと関わっていく中で、そのつながりが今後の自治会等の活動にもつながっていくのではないかと考える。

旧中央公民館内に青少年センターがあった時は、たまり場的なアットホームな場所があったが、現状気軽に集まれる場所が少なくなっている印象である。また、現在も担当職員はとても熱くかかわってくれているのだが、異動によって職員が代わってしまうこともあるので不安である。さらには、青少年の団体が主催するイベントが、（青少年にとって）一種の仕事のようになっているところがあると最近感じる。自然体験学習に行った子供が地域ともどんどんつながっていくことが重要だと思うが、最近はのびのびやっていないかもしれない。

⇒【村長コメント】

職員の年齢も変わるし、向き・不向きもあると思う。今の時代に合わせてイベント等を行っていく必要が今後もあると思う。

改めて、普段の活動においても気軽に立ち寄れる場所があるとよいと感じた。

現状中央公民館も貸室になっていて、予約等で使用するような形なので、気軽に集まることができる「たまり場のような場所」があるとなお良いとは思った。

いろいろな活動を通じてつながりがある子どもが集まれる場所があると、次の世代が育っていくと思うので、今後も検討していきたいと思う。